

湯沢西小創立150周年 記念商品できたよ！

菓子など企業と開発 市役所あすまで児童が販売会



湯沢市の湯沢西小学校（佐藤芳一校長、455人）の児童が地元企業と連携して開発した菓子や雑貨の販売会が6日、市役所本庁舎1階で始まった。2024年度に創立150周年を迎える同校の記念事業の一環。あす8日まで、午前10時半～11時半に販売する。

◆
会場に並ぶ三関地区のサクランボを使ったロールケーキやリンゴのどら焼きは、6年生が菓子製造・販売のくらたと協力して作ったもの。富谷商店の即席麺は4年生、鈴木又五郎商店のコメは5年生がそれぞれパッケージデザインを担当した。



トートバッグやタオルには150周年を記念して児童が考案した「にしまるちゃん」をプリント。丸みを帯びた字体の「西」の中に笑顔をあしらったデザインで、考案した吉澤和音さん(6年)は「節目のいろいろな場面で使われてうれしい」と話した。

初日の6日は6年生が取り組みや商品について発表。150周年をPRするのぼり旗や商品のポスターを手にし、来庁者に「150周年を迎えました」「記念の商品を売っています」などと元気な声を上げた。ロールケーキやどら焼きを販売するブースには長い列ができ、販売開始から30分ほどで完売した。



地元企業との連携は、学校や児童と地域のつながりを深めるのが狙いで、児童は昨秋からコラボ商品の開発などに携わってきた。高橋心々寧さん(6年)は「学校だけでなく、市内の会社も長い歴史があることを知った。節目を記念した商品をぜひ多くの人に買ってもらいたい」と話した。

(館岡朋美)

(令和6年3月7日(木) 秋田魁新聞より
一部抜粋)